

JAびえい・広報誌



No.1084
5月号

2014
MAY

丘の大地



“苗半作”健康な苗づくりに願い込め

— 4/21 原野4線 長谷川勝洋さん宅での作業から —

■第63回通常総代会から2
■総代会組合長あいさつ4
■情報カン10

集
特
第63回
通常総代会

協同が育む地域・組合員経済
正念場の美瑛農業前進に全提案承認



この1年のJA事業に区切りをつけ、新年度に向け新たな事業を確認する第63回通常総代会が行われました。

総代会は4月4日に開催され、当JA全総代240名のうち219名(書面議決含む)が参加し、今年は幾分遅い融雪状態から「春を呼ぶ」総代会として多様な意見が交わされました。

総代会は組織に結集する組合員のみならず、

さんと事業を総括し、信用事業を行う「総合農協」として新年度事業への新たな取り組みを確認する大切な意志決定機関で、組織を前進させるために不可欠なものとなっています。

総代会提出の議案は8議案で、報告事

項は1項目。理事者提出の全議案が承認されました。

また、予断を許さない状況にあるTPPに関して「TPP等国際貿易交渉から北海道農業を守り抜く」決議が提案され、舟山智章青年部長の力強い朗読宣言に満場一致で採決されました。

試される協同の成果

食料自給に大きな使命を担う北海道農業はTPPに限らず、国際競争や市場主

義経済」と称し、存亡の岐路に立たされています。既に米対策や経営所得安定対策の見直しで本年産から米の直接支払交付金が半減され、政策変更などが正念場を迎えるなか、組織結集成果で前進を誓う総代会となりました。



総代会は開会宣言に先立ち、各顕彰伝達が行われ、早坂・齊藤顕彰2名、遠藤顕彰1名、北海道報徳農業善行賞1名(別掲)各氏に大西代表理事組合長から賞状や副賞が手交されました。

続いて、出席者全員によるJA綱領が朗唱され、大西代表理事組合長が、平成25年度の事業経過や、TPPや所得政策を中心とした農政課題について開会挨拶(別掲)を行い、来賓挨拶では浜田町長(別掲)が行われ、来賓として招かれた各氏21名が紹介されました。

議長進行役の議長団には、坂田昌則さん(置杵牛中央)と谷秀雄さん(豊栄)の2氏を選出し、提出案件の議事に入りしました。

決算報告では、平成25年度の貸借対照表、損益計算書、全国監査機構監査や監事監査報告について報告され、議案は、剰余金処分案、平成26年度の事業計画の

設定、賦課金の徴収方法、役員報酬の決定、地域農業振興計画(第9次中期5カ年)の設定など、8議案が承認されました。

参加総代各位からの主な質問事項は、当JAの財産状態を数値で示す貸借対照表の報告書記載に係る表記の方法についてや協同事業の成果としての事業分量配当についての考え方、地域内農業生産高とJA取扱高の数値に関連する質問など、多彩で建設的な意見で終始するものとなりました。

役員補欠選任・
定款変更等2議案も
特別議決承認に

本年度の総代会で総代の3分の2以上の賛成要件となる特別議決事項案件は2件でした。1つは反社会的勢力の組合員からの排除及び常勤役員員の資格要件に関する規定について所要の整備を行う件の定款等の変更、2つめは学識経験理事の辞任に伴う理事の選出について、加藤金融共済部長が補欠選任されました。

第63回通常総代会 来賓ご出席のみなさん

（順不同・敬称略）

◆ご祝辞



美瑛町長 浜田 哲



北海道議会議員 竹内英順



美瑛町議会議員 齊藤 正



JA北海道中央会旭川支所長 荒川 聡

美瑛町農協名誉組合員／遠藤秀孝 美瑛町長／浜田 哲 北海道議会議員／竹内英順 美瑛町議会議員／齊藤 正 JA北海道中央会旭川支所長／荒川 聡 JA北海道信連旭川支所次長／瀬戸良恵 ホクレン旭川支所長／河内直人 JA共済連北海道本部道北業務センター長／酒井尚文 JA北海道厚生連旭川厚生病院事務次長／斉藤大輔 上川生産連農業振興部長／三谷猛人 上川中央農業共済組合農作部長／廣田好宜 北海道農業公社上川支所長／今野一憲 上川農業改良普及センター大雪支所長／佐藤千代志 美瑛町農業委員会会長／鹿島明博 美瑛町農民連盟執行委員長／小野寺雅芳 美瑛土地改良区理事長／寺崎 実 しろがね土地改良区理事長／岡田幸男 美瑛町森林組代表理事組合長／喜多善一 美瑛通運(株)／代表取締役社長 中村清志 美瑛町農林課長／大西能正 日本甜菜製糖(株)上川中部センター長／角田克也 びえいフーズ(株)代表取締役／國重泰生

美しい農業景観は“宝” 美瑛町も積極策で農業振興

【浜田町長あいさつ／要約】

美瑛町の農業総生産に関連し、農業施策も含め130億円を超え安堵しているところです。TPPについてですが、4月に訪日予定のオバマ大統領には「来日土産」がどうなるか心配されます。

農業所得政策では皆さんもご存知のとおり大きく見直しの入った年度となりました。町としても美瑛町農業振興機構をフルに活用したいと考えており、今年も農業者を守り発展する1年といたしたい。美瑛町農業は土地利用型、集約型など形態は多彩ですが、すべてをしっかりと支え、土づくりによる「基盤づくり」も念頭にマーケティングによる産地化を進めなければならないと考えています。

議会承認を頂きましたがトマト、玉ねぎ、担い手対策、働き手の施策も打ち出したところであり、各位のご協力を頂きたいと思えます。

東京でのアンテナショップに加え、北瑛小学校跡地に美瑛町産の地産地消の拠点施設を建設し、美瑛町のブランド化をさらに高めたいと考えております。農業はこれから大きな変革期に入りますが、美瑛町としても消費者・流通等へアクセスをしようと思えますので、すばらしい景観を“宝”として守ってまいりたいと思えます。

新年度の運営方針の主なものとして、組合員のみなさんの農業所得に直結する農業総生産の計画は109億円余りで、コメや畑作物の直接支払交付金等は含まない型での比較は平成25年度実績比4

億円アップを見込み各事業が進められます。指導、農地集積の誘導、後継者のパートナー対策、新規就農対策に加え、担

い手に対する支援、さらには農業者の高齢化、労働力不足における農作業労働

平成26年度農業総生産109億円（交付金を除く）をめざして

務対策を進める内容です。販売事業では、振興策のメインにトマトの増反支援、振興策の新たな品目として加工玉ねぎの増反推進などによる所得確保をめざします。加工事業では新設した美瑛小麦工房による「ゆめちから」の特性を活かした独自ブランドの取り組みやマーケティングを最大に活用しながら販売力の強化を図ります。購買事業では、予約購買を中心とした資材コストの低減化、信用事業では「地域密着型JAバンク」をめざしながら、一体化した「共済総合推進体制」を推進する内容です。なお、平成30年度を目標とする地域農業振興計画（第9次中期5カ年）では、目標年の区域内農業総生産高は128億円余り（交付金等含まない）をめざします。目標の達成には組合員の組織結集が前提にあり、各位のご協力を願うものです。



美瑛町農協 第63回通常総代会 代表理事組合長あいさつ

予断を許さない

TPP農業交渉

開会にあたり、ひと言ごあいさつを申し上げます

総代の皆さんには本格的な春作業を目前に控え、何かとご多用な中、ご出席を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、公務ご多忙な中、名誉組合員・遠藤秀孝さん、浜田町長、竹内道議、齊藤議長をはじめ、行政各関係機関、系統連合会代表の皆さん、さらには、日頃から協同組合運動にかかわりの深い関係組織各位にも、ご出席を賜り、ここに第63回通常総代会を開会できますこと、衷心より厚くお礼申し上げます。

近年、海外そして国内においても寒波や大雨など、異常気象ともいえる報道がなされている中で、今年的美瑛町の融雪日については、当JAの定点による積雪調査では、4月16日が予想されております。春作業の好スタートに向け、一日も早い融雪を願うところであります。

さて、日本のTPP交渉にあたつ

て最大の焦点といわれているのが農業分野であります。

本年3月8日に開催されたJA全中の第60回通常総会において、萬歳章JA全中会長はTPP交渉に関して、「アメリカが例外なき関税撤廃を現在も執拗に求め続けている情報もあり、予断を許さない状況にあることに変わりはない」と述べ、併せて「5月のAPEC会合が今後の大きな山場」とし、引き続きTPP交渉における国会決議の実現に向けて運動に取り組むことを強調しました。

現在、TPP交渉は2月の閣僚会合で大筋合意には至らなかったものの、4月下旬のアメリカ・オバマ大統領来日に向け、その後の動きを注視していかなければならないところがあります。

また、国内の農政改革では、水田農業政策の見直しや、農地中間管理機構の創設を盛り込んだ「農林水産業・地域の活力創造プラン」の策定と、新基本計画への検討が始まったことに合わせ、農協改革の議論もなされている状況の中で、JAグループは将来にわたって「食」と「農」を基軸に、地域に根ざした協同組合としての使命と役割を果たすため、自らの改革に挑戦していかなければなりません。

関税撤廃による北海道農業への影響額は、関連産業を含めると1兆6千億円ともいわれ、北海道農業は壊

滅的なものとなります。

当JAといたしましても、断固阻止の意志から、本総代会においてTPPに関する決議について、後ほどご審議の中でご提案申し上げるところであります。

食料自給率39%という危機的状況から抜け出すことは、わが国にとって最重要課題です。食料自給率の向上への生産意欲の持てる政策により、生産者努力が報われる、実効ある制度と定着を切望するものであります。

さて、平成25年度的美瑛町の気象推移であります。平年より遅い雪解けとなり、その後も低温、日照不足、多雨など、春作業は遅れてのスタートとなりました。

6月は、日照・気温とも平年より高めで推移し、霜害の被害もなく良好ではありましたが、一部の地区で土砂流亡の被害が出ました。7月は、干ばつ傾向、8月・9月は、降水量・降雨日数ともに平年より多かった内容です。10月は、上旬は好天に恵まれたものの、収穫時期の降雨により、大豆・馬鈴薯など、苦勞された年であったと思います。

総じて、平成25年度は、春先の融雪の遅れから、蒔きつけ等への作業の遅れ、干ばつ、降雨など、不順な天候に悩まされ、懸念材料が多かったものの、ある程度の収量は確保できたものと思っております。



水稲における豊凶の目安となる作況指数であります。全国「102」、北海道・上川・美瑛とも「105」と、平年を上回る作柄が確保され、高品質米比率は21・4%となりました。

小麦につきましては、施設の有効活用により、「きたほなみ・春よ恋・ゆめちから」とともに全量1等を確保しております。

てん菜につきましては、寒冷地作物として本町農業所得確保に大きな期待を寄せていたところでありますが、平均糖度は16・2%という基準糖度を下回る結果となりました。

振興作物であるトマトにつきましては、昨年に続き10億円を超える12億円の取扱高となり、美瑛町野菜の主力品目として確立してきているところでもあります。

酪農関係につきましては、飼料の高騰や電気料金の値上げなど、マイナス要素はあったものの、乳代の値上がりや、個体販売価格が高値安定となり、肉豚についても、販売頭数の増加、単価の伸びなどにより、順調に推移いたしました。

平成25年度の農業生産であります。が、区域内農業総生産計画108億3千万円に対し、実績で104億7千6百万円となりました。

このほかに、成績払いおよび固定払いで、27億3千万円であり、合わせますと、132億6百万円の実績で

あります。

これを受けて、平成25年度の販売取扱高は、98億7百万円で、前年比1億7千4百万円の増。購買品供給高は64億4千万円で前年比7億6千4百万円の増。貯金残高は223億6千2百万円で前年比8千7百万円の増となりました。

また、協同事業の成果であります。平成25年度の当期剰余金は1億8千2百万円余となりました。

これら、剰余金処分案につきましては、後ほど議案の中でご説明させていただきますが、農協事業を通じての組合員への利用還元を前提としながら、総合農協として強く求められております。自己資本比率をはじめとする財務基盤の強化・農協経営の健全性などについてもご理解を賜りたいと考えております。

地域農業振興計画 （第9次中期5カ年） 平成30年を目標に スタート

本年は、平成30年度を目標年とする第9次地域農業振興計画がスタートします。『人をつなげ、丘をつなげ、次につなげる、たゆみなき食と農への貢献』を経営理念に、「次代を育む営農体系の確立」「安全・安心な美

瑛農畜産物の確立」「丘のまちびえい」を背景とした販売戦略の展開」「地域を支えるJAの経営基盤強化」を4つの柱として掲げ、着実な実践と組織の主役である組合員の経営安定化に向けた、付加価値の高い農業生産と多様な販売戦略を講じるとともに、農業雇用労働力不足に対する体制整備を図りながら、農政の転換に呼応した営農相談・支援機能の強化として、新たな施策への対応を「美瑛町農業振興機構」との連携機能分担を含め進めて参ります。

農業を取り巻く環境は、課題も多く、今以上に厳しいものが予想されますが、組合員各位をはじめ、青年部・女性部・フレッシュミセス会・各生産部会と共に、第27回JA北海道大会の決議の旗印のもと、時代や環境の変化に柔軟に対応できるJAを目指し、皆さまが安心して経営できるよう最大限努めて参りたいと思います。また、生産と生活両面を担う女性の声をJA運営に活かす仕組みづくりを行い、地域に密着した協同活動の実践などにより、なお一層、地域住民から愛され信頼される組織づくりに取り組んで参ります。

本日の総代会に8件の議案を提出させていただきますが、深いご理解を頂き、建設的な意見の中で総代会運営に、特段の協力をお願い申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。

育て！エース作物

熾烈化する産地間競争や輸入攻勢による農畜産物の低価格を乗り越え、美瑛町の振興作物を模索するところですが、「加工玉ねぎ」の直播栽培に向け、播種機の現地作業試験が行われました。

加工玉ねぎ、直播で

真空播種機の

現地実演に

この作業機試験は4月22日、北瑛地区で行われ、町内各地から栽培に関心の高い生産者、農業団体の関係者50名余りが訪れ、播種機の性能、仕組みを熱心に見ていました。

当日準備されたのは真空播種機と呼ばれる野菜用精密播種機で、トラクター本体にセットされたのは6畦。株間も作目播種

に合わせて自由に設定できるとのこと。加工玉ねぎ播種機の1時間当りの作業量は40アールほどで、時速4kmとなっています。

本町においては生産者の所得確保を販売事業のメインに取り組みを進めているところで、地域農業振興計画でも地元

の加工事業者への供給によって安定所得対策の確保を目指すものです。その先駆けとして、加工野

菜、加工玉ねぎに着目をして取り組みを進めているところですが、本町の玉ねぎを要望する加工事業者は、国内産をメインに扱い、輸入品を抑える戦略にあり供給先は安定しています。なお、本町加工玉ねぎは平成30年度2百tを目標に生産振興を図ります。



6畦の播種状況を見る関係者(上)とメーカー説明(下)



美瑛町の主幹品目で、美しい農村景観の主役を担う美瑛町の種子馬鈴薯が生産者宅へそれぞれ引渡されました。

今年の種子引渡しは4月7日から18日までの10日間行われ、昨年と比べると2日ほど早い出荷となっています。

美瑛町の種子馬鈴薯の貯蔵はJA倉庫を主体に町内各地の6カ所。品種は、トヨシロや男しゃくなど、加工・食用品種7種となっています。

貯蔵出荷の馬鈴薯は品種ごとにネットが色分けされ、20kgネットでは70千袋、60kgのフレコンでは515パック。供給の生産者は180戸で生産者は気温の上昇を待ちながら、種子消毒や浴光を行い、播種に備えます。

地域農業振興計画での平成26年度計画目標は、種子、生食、加工で1,093tで馬鈴薯の生産が所得確保のカギとなっています。



いつまでもお元気で／年金友の会 新年度は道外事業も...



会員相互で
ふれあいを深めた
年金友の会総会

当JA金融店舗での年金の受取を通じて、会員相互の親交を図る年金友の会(谷口健三会長)の総会が4月9日、JA3階大ホールで行われました。

総会は会員物故者の御霊に黙祷を捧げてから谷口会長が「今年は会員親睦に多彩な事業を、役員会で協議しながら計画しました。特に、今までに例のない道外の親睦旅行も計画しており、多数の参加をお願いしたい」と開会挨拶。事業計画では7月にやすらぎの旅、11月に飲楓会、1月に湯治の集いを予定しており、道外での飲楓会が企画された場合は3泊4日を予定しています。

なお、本年度の傘寿者は男性9名女性8名の合計17名。総会の席上、谷口会長から傘寿を祝う記念品がそれぞれに贈呈されました。

焦点 FOCUS

J Aの使命発揮 「農協改革」論議は慎重に

最近、政府の産業競争力会議や規制改革会議等による農協のあり方について議論が進められていることが報じられている。加えて、J Aグループが進めていた「農協改革」についてJ A北海道中央会は1つの見解を示した。

まず、農協改革論議について北海道と府県の農業・農協の使命・地域での果たす役割が根本的に違うことを指摘。北海道の農協運営はいうまでもなく、担い手为中心で、ましてや金融や共済は組合員の営農資金供給として指導金融に徹して有効に運用されていることや地域のインフラとしても機能していることを強調。

北海道と府県との決定的な違いは「食料供給基地」としての農業生産力だ。その差は圧倒的で、まさに農業立国として産業力の重要な位置を占めている。

主業農業者の占有率は73%で農業で生活を支えている基本姿勢は明確なものとなっている。その中で農業生産力をいかに高め、所得確保をいかに高めるかがJ Aの使命でその使命を認識し、しっかり発揮しているのがJ A北海道グループの現実である。

信用事業・共済事業の分離論等では問題点として指摘する声があるものの、北海道の行き方としてはJ Aが地域はもとより農業生産の拠り所として機能していることや、J Aの存在があるからこそ食料生産の基本になっていることは間違いないことも強調。

また、「農協法の抜本的な改正」について、時代に沿った多種多様な農業の型がある中で、それをどのように進めて行くかどうかは課題ではあるが、拙速に農協法の改正はすべきではないし、議論を進め慎重に取り組むべきとしている。農協改革議論はこれから進められるが、北海道に限らず全国の中山間地のJ Aは地域経済を守り、地域インフラの役割を果たしていることを忘れてはならない。

農業振興 協同運動 遠藤顕彰新設に



人づくり地域づくりに役立たせて頂きます。写真は初の顕彰者の内田一之さん

当J Aの役員として組合長・会長などの職を歴任し、昨年の通常総代会にて名誉組合員に推戴させて頂きました遠藤秀孝氏が、美瑛町の農業振興と農協運動、事業の精々発展に役立

初
の
顕
彰
に
内
田
さ
ん
（
中
宇
莫
別
第
2
）

本
顕
彰

之さん（中宇莫別第2）に各彰が手交されました。
遠藤顕彰は昨年6月に制定され、農業・農協の振興発展に向けて行う海外調査や派遣、美瑛町農業、農協の運動や事業推進に向けた研究開発に係る助成に充てられます。
達成のため事業執行、収支計画および決算の認定を行う管理委員会を設け、事業運用は組合長が委嘱した役員で目的達成のために行います。
また、調査派遣に係る個人団体は、農業振興・農協運動に関する功績が特に顕著なもの、優良農業者、管理委員会が認めたものです。
農協運動の健全な推進の前提には組織する組合員みなさんの「事業理解」があり、「組織は人なり」と言われる所似がここにあります。この顕彰を主旨に則り、運用させていただきます。

おめでとうございます

平成25年度の顕彰

早坂・齊藤顕彰一 寺口 明さん（原野4）

有富一幸さん（福富瑛進）

北海道報徳農業善行賞一 舟木求さん（朗根内更生）

早坂・齊藤顕彰会が行う顕彰は農業経営の健全性と後継者への継承を基本に顕彰会が推薦選考を進めていたところですが、今年は寺口さん、有富さんの両氏が選考されました。北海道報徳社が行う「農業善行賞」は舟木さんが選ばれ、総代会開催の前段で大西代表理事組合長から総代各位が見守る中、表彰状と各彰が手交されました。



早坂・齊藤顕彰
寺口 明さん（原野4）



早坂・齊藤顕彰
有富 一幸さん（福富瑛進）



北海道報徳農業善行賞
舟木 求さん（朗根内更生）

具体例を知る ノンフィクションレポート 実践農業 講座から③

北海道の農地が中国 マネーのターゲット!

の例を考えて頂いて、そうだった時にアメリカの企業が入ってきたと思うのではなく、中国の影があるということも考えて頂きたいのです。

日本には農業者、生産者の顔が見えるすばらしい生産地がいっぱいあるのに、大きなものに呑み込まれてしまうと、日本農業の良さが伝わらない「フランチャイズ」のような農業形態となってしまう恐れがあります。個性のない日本農家にしてしまつて良いのかという点で、私はTPPに大反対なのです。抵抗していかなければ大きな組織にいつの間にか呑み込まれてしまうのです。そのトップが中国であり、中国共産党なのです。

節操のない中国マネーについては、先月号でお話した通りなのですが、これからは、日本の農業分野にもそういった型で入ってくる可能性があります。その対象となるのが「北海道」なんです。なぜかと言いますと、比較的安くて広い土地が買える可能性があるからです。しかも法人化をして、TPPに入れば買収の対象にもなります。

まず株で投資をするというところから入って、徐々に盗られる可能性があるのです。ですから北海道の皆さんには、今

うのは、将来、市街地や工業地になる可能性のあるところで、そこをかうのです。そして農民から農地を買収する行動に出るのですが、そのあとに転売していくというシステムなのです。

農業立国カナダの恐怖 中国人投資家の農地転売

サスカチュワン州のファーマーは50代後半という方が多く、後継者不足に悩んでいるそうです。そしてそこに土地を売りたいという企業が来るのです。どうしてその州の農業者の皆さんが土地を手放してしまうのかというと、大量の一時金を受け取ることが出来るからです。しかも、農業をやめる時には退職金も渡されるシステムになっているのです。しかも企業は後継者を探してきます。そんなシステムで地元バンキングが出来ました。結果的には、多くのファーマーが農地を手放してしまつた訳です。

そもそもこの州の農地を買っているお金はどこから来ているかと言いますと中国共産党の吉林省です。中国の吉林省は非常に寒いところで、サスカチュワン州とは姉妹都市として20年以上の付き合いがあります。近年、交流が急速に密になり、吉林省のトップは中国とカナダで、あるものとなないものが逆なので相互理解が出来ると考えています。

要するに、彼らは人民をカナダに送り込み、土地を手に入れ、お金を生み出すことが容易に出来るということなのです。そのようにして、カナダの農地は中国の



(かわそえ けいこ)
河添 恵子

ノンフィクション作家

■ 略 歴 ■

1963年千葉県生まれ。愛知県立千種高校を経て名古屋市立女子短期大学(現在の名古屋市立大学)を卒業後、1986年より北京外国語学院、1987年より遼寧師範大学へ留学。

■ 主な著書 ■

『中国人の世界乗っ取り計画』、『豹変した中国人がアメリカをボロボロにした』(産経新聞出版)、『エリートの条件世界の学校・教育最新事情』(学研)

『中国人とは愛を語れない!』(並木書房) 翻訳監修に『中国マフィア伝』(イーストプレス)、『中国江南』(ダイヤモンドビク社)など。

学研の図鑑

“世界の子どもたちはいま”シリーズ24カ国(24冊)

“世界の中学生”シリーズ16カ国語(16冊)

“アジアの小学生”シリーズ6カ国語(6冊)

取材・編集・執筆。産経新聞コラム、雑誌『正論』、『Will』、『SAPIO』、『週刊文春』なども執筆。

最新著書『だから中国は日本の農地を買いにやって来るTPPのためのレポート』(発売日:2013/11/30)



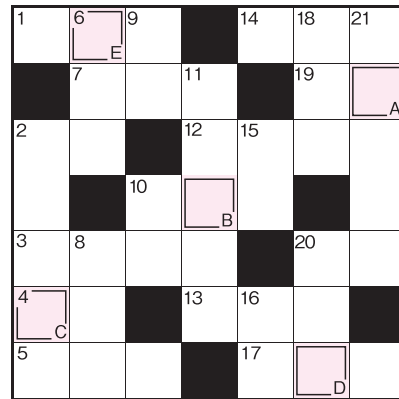
美瑛町の景観豊かな中で進められる農作業

手に渡ってしまったのです。カナダの議員は農業経営者に対し、「小作が嫌でカナダのこの地にヨーロッパから入ってきた。それなのに3代目のファーマーがまた小作人になって良いのか、考えてくれ」と呼びかけているわけです。しかし、議員の思いに反して、ファーマーは「退職金が入るから良いのでは」とする考えで農地を手放してしまうという現実が、今のカナダで起こっているのです。中国系の資本家がこのようなことをしているのは、ほぼ間違いなくとすると、これまで州政府はつかんでいます。いずれにしても中国は、世界中で農地を買いあさっています。これが現実であることを、私は特に訴えて参りたいと考えております。

頭の体操

クロスワードパズル

二重マスの文字をA→Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



正解者の中から抽選で5名の方に農協全国商品券（全農）をプレゼントします。

【応募方法】

官製ハガキ、FAXまたはEメールに①クイズの答え②今月の良かった内容③「丘の大地」に対するご意見・ご感想、その他おたよりなど④郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号

【応募先】

〒071-0298

上川郡美瑛町中町2丁目6-32

JAびえい「丘の大地」クイズ係

●FAX 0166-92-2977

●Eメール kouhoushi@biei.ja-hokkaido.gr.jp

【締め切り・発表】

毎月20日(当日消印有効)

当選者は次号でお知らせします。

※応募の際にご記入いただいた個人情報、賞品の抽選・発送に利用させていただきます。また、ご意見ご感想については、本誌編集の参考にさせていただきます。

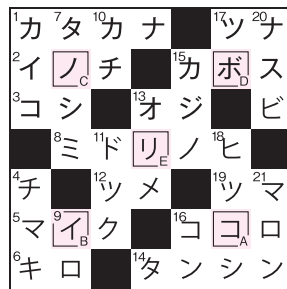
ヨコのカギ

- ① ウィンブルドンで行われる大会がよく知られるスポーツ
- ② 油断も——もない
- ③ 胃のX線検査のために——を飲んだ
- ④ 地球——で環境問題を考える
- ⑤ アプリコットともいう果実
- ⑦ 次の駅には止まらず——します
- ⑩ 帆に風を受けて進みます
- ⑫ 仏作つて——入れず
- ⑬ 海路、空路ではなく地上を行います
- ⑭ 開くと花が咲きます
- ⑰ 牛乳を発酵させて作ります
- ⑲ 鳴門海峡には巨大なものが発生します
- ⑳ ちりんちりんと呼びます

タテのカギ

- ② 1993年にチエコと分離した国
- ⑥ その日にあったことなどを書き留めます
- ⑧ プレゼントに掛けて結びます
- ⑨ 彼の實力は未知——だ
- ⑩ 和——中とそろったバイキング料理
- ⑪ アジサイに似合いそうな生き物
- ⑮ アーチェリーの選手が狙いを定めるもの
- ⑯ 食べ物が入ったり言葉が出たり
- ⑳ 日差しから頭を守るためにかぶります
- ㉑ アンダー——の右腕投手
- ㉒ 家族だけ、内輪だけで他人はいません

☆当選者は



おめでとうございます。

以上の5名です。

木村香央里さん

山家 成江さん

丹野 信子さん

相内 健太さん

村上 久子さん

5月のあなたの運勢

監修/モナ・カサンドラ

おひつじ座 (3/21~4/19)

【全体運】ゆったり過ごせば、英気を養える時期です。近場の温泉でのんびりしては、趣味や楽しみに熱中するのも大賛成

【健康運】無理は禁物。リラックスを心掛けると◎

【幸運を呼ぶ食べ物】キクラゲ

おうし座 (4/20~5/20)

【全体運】自分に自信が持てるはず。やってみたいことには果敢にぶつかってみて。未体験分野への挑戦ほど成功率は高め

【健康運】オーバーペースはNG。休息を忘れずに

【幸運を呼ぶ食べ物】シタケ

ふたご座 (5/21~6/21)

【全体運】インスピレーションがさえそう。ピンときたら、直感を信じて行動を。また、サービス精神を発揮するのも大事

【健康運】興味のあるスポーツを始めれば好影響大

【幸運を呼ぶ食べ物】アスタバ

かに座 (6/22~7/22)

【全体運】得意なことや好きなジャンルがきっかけで人脈が広がっていく気配。講演会や講習会などには積極的に参加して

【健康運】ちょっとしたけがに注意。行動は慎重に

【幸運を呼ぶ食べ物】アオリイカ

しし座 (7/23~8/22)

【全体運】持論に固執するあまり、チャンスを見逃しやすい。もっと柔軟に、周囲の意見やアイデアを取り入れてみて

【健康運】評判の健康法が体質にぴったり合うかも

【幸運を呼ぶ食べ物】コゴミ

おとめ座 (8/23~9/22)

【全体運】行動力が上昇。普段ならちゅうちょすることに思い切って挑めます。保留になっている事柄にも解決の糸口が

【健康運】運動不足になりがち。小まめに動くこと

【幸運を呼ぶ食べ物】アジ

てんびん座 (9/23~10/23)

【全体運】物事を邪推しやすい傾向がチャリ。親切にされたら裏を読まず、素直にお礼を言って。気晴らしには音楽鑑賞を

【健康運】疲れをため込みやすい。適度に発散を

【幸運を呼ぶ食べ物】イサキ

さそり座 (10/24~11/22)

【全体運】ひとつの作業に集中できず、注意力が散漫気味。手を広げ過ぎないように。好きな絵を飾り、つきを呼び込んで

【健康運】食事のバランスを整えると好結果に

【幸運を呼ぶ食べ物】しらす

いて座 (11/23~12/21)

【全体運】ささいなことでイライラしやすい月。人の言葉の揚げ足を取るのとは避けて。いつの笑顔もキープできれば開運に

【健康運】簡単な柔軟体操で体をほぐすとグッド

【幸運を呼ぶ食べ物】カブ

やぎ座 (12/22~1/19)

【全体運】レジャー運が活性化。話題のリゾートに出掛け、リフレッシュを。プランやアイデアをオープンにするのも正解

【健康運】心を落ち着ければ体調も上向いてきそう

【幸運を呼ぶ食べ物】メロン

みずがめ座 (1/20~2/18)

【全体運】余計なおせっかいが原因でトラブルを招きやすい期間です。人のことより、自分がやるべき作業に意識を向けて

【健康運】体力増強に励むと効果を感じられます

【幸運を呼ぶ食べ物】ニラ

うお座 (2/19~3/20)

【全体運】好奇心が旺盛になる月。興味を引かれるジャンルについて調べてみて。トレンド情報に注目するのも良い刺激に

【健康運】ウォーキングなど軽い運動が幸運の鍵

【幸運を呼ぶ食べ物】ニンニク

農機協 「トラクター」の安全作業のために…。

転倒・転落・衝突事故に注意！



防止策 ……………

- 斜面や路肩でのU字旋回や斜め走行は、転倒の危険が大きくなりますので注意してください。
- ほ場の退出時は作業機を下げて、傾斜に対して直角の向きで退出してください。
- 畔や突起物の乗越えでは、後輪の1/4以上の高低差がある所は避けるか、あゆみ板を使用してください。
- 左右独立ブレーキの付いた機械では、走行、登降坂、畔越え時には、左右のブレーキペダルを連結してください。
- 走行開始時や作業開始時にはクラクションを鳴らし、周りの作業者に注意を促してください。

窓口 研修センター ☎92-0588

農業用廃プラの受入について

農業用廃プラ回収を下記の日程で実施しております。回収対象物は、リサイクル確立のため、分別の徹底にご協力ください。

1. 受入期間：11月14日(金)まで
【休業日】 土日祝祭日・8月11日～8月18日
2. 受入時間：午前8時30分～午後5時
3. 受入場所：美瑛川砂利砕石販売協業組合
4. 受入対象物：

農業用ビニール、マルチ、トンネル、肥料空袋、フレコンバック、ラッピングフィルム、農業容器(ポリ系)、水稻苗箱、ミニコンテナ、トレイ、マルハナバチ巣箱

※空缶等の異物混入につきましては、受入できませんのでご注意ください。

窓口 生産資材課 ☎92-1411
美瑛川砂利砕石販売協業組合 ☎92-4533

ゴールデンウィーク期間中のATM利用時間のご案内

ゴールデンウィーク期間中のATM(ホクレンショップびえい店)のご利用時間は、下記の通りとさせていただきますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

利用時間	5月3日(土)	休 止 日
	4日(日)	9:30～17:00
	5日(月)	休 止 日
	6日(火)	9:30～17:00

窓口 貯金共済課 ☎92-4325

JA Biei Information



軽油・灯油用のホームタンク 無料巡回点検いたします！

軽油・灯油用のホームタンクは、年数が経つにつれ腐食・サビ等によるトラブルの発生が増える傾向にあります。

給油所では、組合員の皆さんのホームタンクのトラブルを未然に防ぐため、JAの指定業者が点検にお伺いします。なお、近年洗浄済みのお宅には点検に伺いませんのでご了承ください。

点検訪問日：5月10日(土)～5月31日(土)

訪問業者：石油共販(株)

点検内容：タンク内外部および設置状況の点検

洗浄料金：ホームタンク一基 5,616円(税込)

灯油配管パイプ内洗浄(2系統まで)

6,696円(税込)

※詳しくは折込チラシをご覧ください

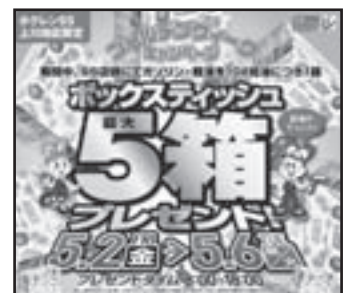
申込方法：点検訪問時または北町給油所

作業日は別途ご案内致します

窓口 ホクレン美瑛北町給油所 ☎92-2157

ホクレンSS GWキャンペーン！

ホクレンSS(給油所)では、管内給油所統一イベントとして、GWキャンペーンを下記の内容にて実施いたします。



期間：5月2日(金)～5月6日(火)5日間

時間：午前8時～午後6時

場所：美瑛北町SS・美瑛大町セルフSS

内容：期間中、店頭給油10リットル以上で箱ティッシュプレゼント！

※10ℓごとに1箱(※最大5箱)

窓口 ホクレン美瑛北町給油所 ☎92-2157

地区担当が変わりました よろしくお願ひいたします！ 皆さんの地区担当です

定期人事異動に伴い営農部の地区担当が一部変わりました
のでご案内いたします。



やまだ なおき
課長 山田 直樹

【担当地区】
五稜、旭



かんとう よういち
係長 神藤 陽一

【担当地区】
大村、美田、北瑛



まなべ けいた
真鍋 啓太

【担当地区】
美馬牛、ルベシベ、二股、
横牛、朗根内、俵真布



あづま たかはる
我妻 孝治

【担当地区】
新星、福富・三愛、水沢、
原野、新区画、置杵牛、
藤野



てづか かずよし
手塚 和義

【担当地区】
美沢、明治、下宇莫別、
中宇莫別、上宇莫別

窓口

経営相談課

☎ 68-7014

農機協

地域みんなで進めよう農作業安全！！

農機協では農作業事故や交通事故を未然に防止する
為、ジョイントカバー等の購入に対して助成を致します。

◎ジョイントカバーアッセンブリ又はカバー付ジョイント

助成金額3,000円(税抜)

(※ジョイントカバー・PTOジョイントはタイプによって価格が違います)

◎低速車マーク 通常販売価格4,000円(税抜)

助成金額1,500円(税抜)

◎回転灯 通常販売価格7,500円(税抜)

助成金額1,500円(税抜)

◎トレーラライトセット

通常販売価格8,400円～13,500円(税抜)

助成金額1,500円(税抜)

(※トレーラライトセットはタイプによって価格が違います)

◎バックモニター 通常販売価格37,905円(税抜)

助成金額1,500円(税抜)

◎バックモニター用増設カメラ

通常販売価格26,200円(税抜)

助成金額1,500円(税抜)

◎バックブザー 通常販売価格5,200円(税抜)

助成金額1,500円(税抜)

今年度より、バックモニター及びバックモニター用増設カメラ、バックブザーの購入に対して追加助成を致します。ジョイントカバーアッセンブリ又はカバー付PTOジョイントアッセンブリーを他の農機具会社等、JA經由で購入される場合も1点につき3,000円(税抜)を助成しています。

窓口

研修センター ☎ 92-0588

農機協

盗難による被害を防止するための 農業機械の適正な保管について

近年、農業者が保有する農業機械の盗難被害が多数発生しています！

1 徹底すべき対策

- (1) 農業機械にエンジンキーをさしたまま放置しない。
- (2) 田畑、農道等の住居から離れた場所やハウス内に農業機械を放置せず、農業機械を施設の上、施設された倉庫等に保管する。

2 有効と考えられる対策

- (1) 農業機械に警報器、ハンドルロック等の盗難防止用品を装着する。
- (2) 倉庫等に、防犯灯(センサー付ライト)、防犯カメラ、防犯警報器等を設置する。
- (3) 倉庫のシャッター前、敷地の出入口等、想定される通路にトラック等の障害物を置く。

3 盗難被害に対する備え

農業機械の機体番号等が記載された書類を保管する。

4 盗難に遭った場合の対応

速やかに最寄の警察署等に届け出るとともに、農協や販売店に情報提供する。

窓口

研修センター ☎ 92-0588

理事会のほうこく

第24回理事会 3月18日(火)

■議案審議事項

- 議案第1号 行政庁検査に係る指摘事項改善、対応状況報告について
・原案どおり承認されました。
- 議案第2号 平成25年度定例自治監査による期末監査結果について
・原案どおり承認されました。
- 議案第3号 全国監査機構期末監査に係る結果について
・原案どおり承認されました。
- 議案第4号 平成25年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分(案)および注記表、附属明細書の承認について
・原案どおり承認されました。
- 議案第5号 第63回通常総代会開催に係る承認事項について
・原案どおり承認されました。
- 議案第6号 第63回通常総代会の提出議案について
・原案どおり承認されました。
- 議案第7号 外部出資の増口について
・原案どおり承認されました。
- 議案第8号 平成26年度信用供与等の最高限度額の設定について
・原案どおり承認されました。
- 議案第9号 平成26年度貸付金利率の最高限度額について
・原案どおり承認されました。
- 議案第10号 平成26年度理事に対する貯金担保等の貸付について
・原案どおり承認されました。
- 議案第11号 平成26年度余裕金の運用方針及び運用方法について
・原案どおり承認されました。
- 議案第12号 規程類の変更について
・原案どおり承認されました。

■協議事項

- ①学識経験理事の候補者推薦について
②定款付属書役員選任規程の変更について
③第59回地区懇談会の意見集約結果について
④平成26年度振興対策組合員等のクミカン口による資金供給枠の設定について
⑤退職職員に対する退職功労金の支給について

第25回理事会 4月4日(金)

■議案審議事項

- 議案第1号 平成26年度役員報酬の決定について
・原案どおり承認されました。
- 議案第2号 常勤理事の使用人兼務の決定について
・原案どおり承認されました。
- 議案第3号 行政庁に提出する業務報告書について
・原案どおり承認されました。

ママ撮って!

美瑛町下字莫別第一

山崎 智明さん
郁恵さん
のお子さん

ママからのメッセージ

とっても活発で、仮面ライダーに夢中な凰佑。毎日おとうさんやおじいちゃん、おばあちゃんを相手に、仮面ライダーになりきって戦っています。家の仕事もお手伝いも大好きで、大人に混じり、作業着を着てはりきっています。これからも、大好きで夢中になれることを、いつでも持てるような子に育ててほしいと思います。



おう すけ
凰佑くん(6歳)



協同の ちから

◇貯金高	222億5千万円	◇組合員数	正組合員 754人
◇貸付高	71億2千万円		准組合員 1,781人
◇出資金	10億9千万円		(平成26年3月末)
◇固定資産	33億1千万円		

気をつけましょう

農作業 事故発生状況

4月20日現在

発生件数	0件(0件)《3件》
負傷	1人(1人)《3人》
死亡	0人(0人)《0人》
()は26年累計 《 》は去年同期累計	

こよみ

5月の主な行事予定

3日(土)	憲法記念日
4日(日)	みどりの日
5日(月)	こどもの日
6日(火)	振替休日
9日(金)	とまと生産部会全体会議

編集後記

TPP(環太平洋連携協定)をめぐる対立から異例づくしの「日米首脳会談」が報じられ、大筋合意は断念したものの、米国の強硬な姿勢に農業者、農業関係者は翻弄された数日間だった。国民の「食と農と命」に係わる主権であり、到底譲れない一線であることは間違いない。

もちろん、依然として警戒は解けないものの、大筋の合意が回避できたのは、系統JAや農民組織、地域から後押しする広範な世論、国会決議が防波堤となっているからだ。引き続き米国の不当で勝手な圧力には、屈しない心構えを持ち続けなければならない。運動の真価が問われるのはこれからだ。

